

た ら よ う の き
福正寺多羅葉樹
瑞穂町指定天然記念物

所在地：瑞穂町殿ヶ谷 1129 番地 福正寺境内



多羅葉樹(和名：タラヨウ)は本来、近畿地方以西、四国、九州などの暖地に生育する樹種です。葉裏に先の尖った棒などで字を書くと、そこが黒変することから「字かき^じ葉^ば」と呼ばれ、その性質が古代インドで植物の葉が筆記媒体として用いられたヤシ科の植物の^{ばいたらよう}貝多羅葉に似ているため、寺院の境内等

に植栽されます。この樹木は樹齢 700 年と伝えられている古木で、近隣地域でこのような大樹は少なく、希少な個体です。